

【第3編 資産運用 2-55】PSRを知る(前編)

～どのような場面でPSRを活用するのか～

(1)PSRとは

- ①PSRとは、Price to Sales Ratioの頭文字をとったもの
- ②日本語では「株価売上高倍率」と呼ぶ
- ③主として新興成長企業の株価水準を測る指標として注目されている

(2)クイズ

多くの上場したばかりの新興企業の特徴の中で、
最も適切なものを1つ選んでください。

- 1.売上はあっても、利益が小さいことが多い
- 2.新興企業は売上がない場合が多い
- 3.債務超過により、利益が出ないことが多い

→1:利益が小さい、赤字

(3)PSRの活用場面

- ①売上高が同じ程度の複数の同業企業を比較した時、
PSRの倍率が高いほどその企業の株価は割高、
逆に倍率が低いほど株価は割安と判断する
- ②日本では新興企業などの成長企業を見る際に活用することが多い
→特に上場したばかりの新興企業はまだ赤字会社であることも多いが、
その会社が赤字でも、PSRは計算できるのが特徴

(4)PSR の大事なところ

- ①成長する企業は、先行投資も多い頃から、利益があまり出ていない、場合によっては赤字などであることが多い
- ②「赤字」とは、一定期間(単年度)における費用が、収益を上回る損失額になっている状態のこと
- ③「債務超過」は、ある一定の時点での債務が、資産を上回る金額の状態にあること

(5)PER、PBR との見方の違い

- ①PER(株価収益率倍率)は、収益に対する株価の大きさを表し、
計算式は... $PER = \text{時価総額} \div \text{収益}$
- ②PBR(株価純資産倍率)は、純資産に対する株価の大きさを表し、
計算式は... $PBR = \text{時価総額} \div \text{純資産}$

(6)PSR の計算方法

時価総額 100 億円、売上高 10 億円の会社の場合を計算すると何倍になるか？

$PSR = \text{〈時価総額〉} \div \text{〈売上高〉}$ に当てはめると...

$100 \text{ 億円} \div 10 \text{ 億円} = 10 \text{ 倍}$

